

## 事業報告附属明細書（事業別報告）

### 法人運営事業

**法人運営事業（62,137,274円）**

#### （1）主な収支状況

市補助金（運営補助金）	53,354,010円（収）
会費（団体会員50件、個人会員1,214件、賛助会員25件）	539,200円（収）
ホームヘルプサービス事業から繰入	7,400,000円（収）
共同募金配分金事業（地域助成金）から繰入	1,143,385円（収）
善意銀行運営事業から繰入	331,539円（収）
人件費	54,106,911円（支）
人件費負担金	5,657,479円（支）
事務所使用料	585,675円（支）
（別に、他の事業から支出。事務所使用料の総金額は3,904,503円）	
その他法人運営にかかる事務費等	1,785,448円（支）
法人運営事業積立資産への積立	1,761円（支）

#### （2）職員構成（令和3年3月31日現在）

##### ▽部署別

部署名	人数
常務理事	1
事務局長	1
センター長	1
事務局次長	2
センター次長	2
総務係	2
地域福祉係	4
生活福祉係	2
在宅福祉係（ヘルパー、生活支援員を含む）	54
地域包括第1係	10
地域包括第2係	6
合計	85

##### ▽区分別

区分名	人数
市派遣職員	3
一般職員	16
嘱託職員	14
臨時職員	3
非常勤職員	49
合計	85

### (3) 会員加入状況

区分	加入数	会費 (年額)
個人会員	1,214名	300円
団体会員	50団体	3,000円
賛助会員	25件	1口 1,000円

### (4) 固定資産物品取得状況

固定資産物品	台数
複合機	1
発電機	1
蓄電機	1
合計	3

### (5) 物品貸出状況

貸出物品	貸出数量
車いす	198
高齢者疑似体験グッズ	1
盲人用安全杖	40
プロジェクター一式	9
合計	248

### (6) 苦情受付状況

▽苦情受付件数 1件 (福祉サービスの内容に関わる事項1件)

苦情については、苦情受付担当者及び苦情解決責任者での対応で解決し、第三者委員への相談はありませんでした。

また、利用者からの苦情に対し、適切に対応することにより利用者の権利を擁護するとともに、福祉サービスの質の向上に努めました。

### (7) 監査・調査状況

監査・調査名	実施日	実施者
橿原市社会福祉協議会地域包括支援センター事業評価	5月18日	橿原市地域包括支援センター及びかしはら街の介護相談室事業評価会議
令和2年度社会福祉法に基づく指導監査	2月24日	橿原市福祉部福祉総務課

### (8) 研修生・実習生等受入状況

学校名等	人数	日程	目的 (研修名)
奈良県医師会看護専門学校	5	7月15日	社会福祉協議会及び地域包括支援センターの事業について
奈良県立医科大学医学部看護学科	3	9月11日	社会福祉協議会及び地域包括支援センターの事業について
青丹学園看護専門学校	6	9月24日	社会福祉協議会及び地域包括支援センターの事業について
奈良佐保短期大学	5	10月19日	社会福祉協議会の役割等について

## (9) 後援・協賛等の状況

### ▽後援

催名	主催	日程
第14回赤い羽根歳末たすけあい新作カレンダーチャリティーバザー	社会福祉法人奈良県共同募金会	令和2年12月11日～14日、16日～17日、19日～20日、23日～25日、令和3年1月5日～9日
全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画「咲む」上映会	橿原市聴覚障害者協会	令和3年8月29日

## (10) その他

### ▽健康診断

ストレスチェック（8月21日～31日）27名受検

VDT健康診断（11月12日、26日）8名受診

定期健康診断（1月13日）70名受診

▽コロナ禍での現状を振り返り、本会の地域福祉推進の取組方針として、「地域のつながりを絶やさない【withコロナ】」を発出（9月17日）

### 地域のつながりを絶やさない【withコロナ】

新型コロナウイルス感染症の拡大は、地域社会に大きな不安をもたらすとともに、私たちの生活を大きく変化させました。この感染症の影響により、人と人が距離をとることや、接触する機会を減らすことが求められ、地域では、特に高齢者が孤独化・孤立化しやすい状況が生まれています。

地域福祉活動やボランティア活動に取り組まれている方におかれては、活動の延期や中止が相次ぎ、先の読めない状況に苦慮されていることと思います。また、市民の皆様におかれましても、集いの場や交流の場が減少することで、地域とのつながりが希薄になりつつあります。

橿原市社会福祉協議会（橿原市社協）では、これまで地域の集いの場や交流の場を通じて住民が抱える課題を発見し、支援につなげてきました。また、地域の課題については、幅広い関係者との協働の場をつくり、解決に向けた取組を推進してきました。

コロナ禍の今、人が集い、ふれあい、顔を合わせて交流する活動や取組が制限されています。このような状況にあっても、橿原市社協は、地域福祉としてのつながりづくりの大切さを改めて認識し、感染予防をしながら、できることをできる方法で、“地域のつながり”を絶やすことのないよう、地域住民の皆様と共に取り組んでいきます。

令和2年9月17日

社会福祉法人橿原市社会福祉協議会

▽自衛消防訓練（避難訓練）の実施（2月25日）

▽昭和35年の設立から60年が、昭和45年の法人格取得から50年が経過し、これまでの本会の活動をまとめた「設立60年・法人化50年あゆみ」を発行（3月1日）

## 役員会等事業（109,625円）

### (1) 主な収支状況

善意銀行運営事業から繰入	109,625円〈収〉
理事会・評議員会等の開催にかかる事務費	109,625円〈支〉

## (2) 理事会・評議員会・運営委員会開催状況

区 分	回数	議案件数	延出席者数
社会福祉協議会理事会（決議の省略を含む）	6	21	85 （監事含む）
社会福祉協議会評議員会（決議の省略を含む）	3	7	46 （理事・監事含む）
共同募金会樺原支会運営委員会（決議の省略を含む）	3	3	40 （監事含む）

## (3) 委員会等開催状況

区 分	回数	延出席者数
社会福祉協議会監査	1	3
評議員選任・解任委員会（決議の省略）	2	8
感謝状贈呈審査委員会	1	4
職員採用試験委員会	3	18
職員衛生委員会	2	18
共同募金会樺原支会監査	1	3

※監査については、出席理事数を含む。

## (4) 役員等研修状況

▽理事・監事・評議員合同研修会

※新型コロナウイルスの影響により中止

## 広報・啓発事業

### 広報発行事業（161,700円）

▽社協だより「いきいき」の発行

第57号（令和2年7月）、第58号（令和2年10月）、第59号（令和3年1月）、第60号（令和3年4月）を発行（「広報かしはら」に折込）する。

▽ホームページによる情報発信

社協ホームページ <http://ww9.sakura.ne.jp/>

### (1) 主な収支状況

共同募金配分金事業（地域助成金）から繰入 161,700円〈収〉  
社協だより「いきいき」発行費 161,700円〈支〉  
（別に、他の事業から支出。社協だより発行費の総金額は1,131,900円）

### 啓発事業（76,835円）

▽社会福祉の増進に尽力し、その功績が顕著な社協会員等に感謝状を贈呈する。

感謝状贈呈日 11月3日

感謝状贈呈者 54名、1団体

### (1) 主な収支状況

共同募金配分金事業（地域助成金）から繰入 76,835円〈収〉  
感謝状贈呈にかかる事業費 76,835円〈支〉

## 地域福祉活動支援事業

地域福祉活動支援事業（3,570,623円）

### （１）主な収支状況

市補助金（事業補助金）	1,520,000円〈収〉
共同募金配分金事業（地域歳末たすけあい助成金）から繰入	2,046,628円〈収〉
善意銀行運営事業から繰入	382,953円〈収〉
地域福祉基金運営事業から繰入	41,939円〈収〉
地域活動積立資産の受取利息	639円〈収〉
小学校区地域福祉推進委員会への助成金	3,178,640円〈支〉
広報・啓発費用	80,850円〈支〉
その他地域福祉推進のための事務費	311,133円〈支〉

### （２）各小学校区地域福祉推進委員会活動の支援

▽各小学校区において地域福祉活動の中心となり、その充実が檀原市における地域福祉の発展につながることから、同委員会の運営及び活動に対して助成し、支援する。

▽子どもと地域との交流事業

子どもの参加を促し、“食”を通じた地域の交流を促進するとともに、その保護者の参加から次世代の担い手の育成を図る。この取組に対して助成し、支援する。

※新型コロナウイルスの影響により中止

▽“緩やかな見守り”の推進

地域福祉推進委員会と自治会、民生委員・児童委員、地域住民等との連携を進めながら、日々の生活の中で異変に気付いた場合に、関係団体や専門機関に相談・連絡するといった“緩やかな見守り”を推進する。

### （３）市地域福祉推進連絡協議会との連携

▽市内16小学校区地域福祉推進委員会等で組織する市地域福祉推進連絡協議会との連携により、校区間の情報の共有化を図り、地域福祉ネットワークを構築する。

### 檀原市地域福祉推進連絡協議会実施状況

開催日	内容	参加者数
7月31日 (書面決議)	議題 (1) 役員を選任について (2) 令和元年度事業報告及び収支決算について (3) 令和2年度事業計画(案)及び収支予算(案)について	18

### （４）コミュニティ自動車の貸与

▽地域福祉推進委員会が実施する活動や事業等へ利用者を送迎するため、社協の車両をコミュニティ自動車として貸与する。

### 利用状況

車種	貸与団体数	貸与日数	延利用者数
キャラバン(10人乗り)	3	22	314

## 見守り活動支援事業

### 見守り活動支援事業（1,626,003円）

#### ▽見守り活動支援事業

住み慣れた地域や家庭で安心して生活できるよう、一人暮らし高齢者等の見守りや安否確認等を目的とした地域の見守り活動を支援する。

実施団体数 8団体

実施対象者 延18,685名

※新型コロナウイルスの影響により一部の地域で4月・5月の活動を休止

#### ▽ふれあい電話訪問サービス事業

高齢者世帯等に対し、ふれあい（話し相手や見守り等）のため、ボランティアによる電話訪問を行う。

実施日 毎週火曜日（午前10時～午後3時）、金曜日（午前10時～正午）

協力ボランティア 延270名 電話訪問件数 延1,425件

※新型コロナウイルスの影響により4月・5月・1月・2月の活動を休止。2月に様子伺いとして、ボランティアによる手書きのメッセージ（お便り）を利用者へ送付

#### （1）主な収支状況

共同募金配分金事業（地域助成金）から繰入	8,380円〈収〉
共同募金配分金事業（地域歳末たすけあい助成金）から繰入	1,617,623円〈収〉
見守り活動にかかる事業費	1,617,623円〈支〉
ふれあい電話訪問サービスにかかる事業費	8,380円〈支〉

## ふれあいサロン事業

### ふれあいサロン事業（2,302,261円）

▽住み慣れた地域でいきいきとした生活を送ることができるよう、65歳以上の方を対象に、地区公民館等において体操や手芸などの活動を行い、閉じこもりや心身機能の低下、要介護状態等への進行を予防する。

#### （1）主な収支状況

市受託金	2,302,261円〈収〉
ふれあいサロン活動のための助成金	1,840,654円〈支〉
広報・啓発費用	161,700円〈支〉
その他事務費	299,907円〈支〉

#### （2）ふれあいサロン実施状況（於：各地区公民館等）

地区名	名称	回数	延利用者数	開催日時
真 菅	ますげいなほ会	25	699	毎週土曜日 午前9時～午前11時30分
今 井	今井校区ふれあいサロン	21	409	毎週土曜日 午前9時30分～午前11時30分
新 沢	新沢地区ふれあいサロン	6	112	毎週火曜日 午後1時～午後4時
香久山	香久山地区ふれあいサロン	12	270	毎週土曜日 午後1時～午後4時

晩 成	晩成ふれあいサロン	2 1	4 4 4	毎週木曜日(第5木曜日を除く。) 午後1時30分～午後3時30分
畝傍南	畝傍南ふれあいサロン	6	1 9 8	第2・第4水曜日 午後1時30分～午後4時
畝傍北	畝傍北ふれあいサロン	1 2	3 5 1	第1・第3木曜日 午後1時30分～午後4時
白 檀	サロンしらかし広場	1 2	2 8 7	毎週金曜日(第5金曜日を除く。) 午後1時～午後3時
耳 成	ふれあいサロン耳成	1	3 0	月1回開催 開催ごとに異なります。
耳成南	耳成南ふれあいサロン ～イトヤキ会～	1 2	3 5 9	第2・第4日曜日 午後1時30分～午後3時30分
真菅北	真菅北ひまわりサロン	6	1 7 2	第2・第4火曜日 午後1時30分～午後3時30分
鴨 公	鴨公まほろばふれあい サロン	7	1 7 1	第4金曜日 午前10時～正午
合 計		1 4 1	3, 5 0 2	

※新型コロナウイルスの影響により感染症対策を講じて実施（中止、開催日時・場所の変更、参加者の人数制限等）。サロンを中止した地区においても利用者とのつながりや見守りのための新たな取組（ビデオレター、千羽鶴の作成、川柳ボックスの設置等）を実施。開催日時については、通常開催の場合の日時を記載

### (3) ふれあいサロンネットワーク会議実施状況

開催日	内 容	参加者数
6月19日	ふれあいサロンの再開に向けて	24

## 家族介護者交流事業

### 家族介護者交流リフレッシュ事業（2, 520円）

### 家族介護者交流受託事業（60, 000円）

▽要介護高齢者等を在宅で介護している家族の心身の負担を少しでも軽減するため、介護者同士の交流や相談等を実施する。

#### (1) 主な収支状況

市受託金	60, 000円 (収)
善意銀行運営事業から繰入	2, 520円 (収)
リフレッシュサロン活動のための助成金	2, 520円 (支)
広報・啓発費用	40, 425円 (支)
その他事業費	19, 575円 (支)

#### (2) 家族介護者のつどい日帰りバスツアー実施状況

※新型コロナウイルスの影響により中止

#### (3) リフレッシュサロン

日時	毎月第2金曜日 午後1時30分～午後3時30分
場所	保健福祉センター南館3階 講座室2

## リフレッシュサロン実施状況

名 称	回数	延参加者数
リフレッシュサロン	9	27

※新型コロナウイルスの影響により4月～6月の活動を中止

## ボランティア推進事業

### ボランティア推進事業（2,742,645円）

#### （1）主な収支状況

共同募金配分金事業（地域助成金）から繰入	1,261,745円（収）
ボランティア活動保険加入	1,083,550円（収）
ボランティア活動保険掛金	1,083,550円（支）
福祉教育推進校への助成金	1,101,000円（支）
南都・松下等基金積立金ボランティア活動助成金	260,300円（支）
広報・啓発費用	80,850円（支）
その他事務費・事業費	216,945円（支）

#### （2）ボランティア講座実施状況

▽傾聴ボランティアスキルアップ講座

※新型コロナウイルスの影響により中止

#### （3）災害ボランティアセンターの取組状況

▽災害ボランティアセンター設置・運営訓練

※新型コロナウイルスの影響により中止

#### （4）福祉教育推進校（小学校16校、中学校6校 計22校）

▽地域に根ざしたボランティア活動の実践を通じて福祉教育を推進することにより、児童・生徒の社会福祉への理解と関心を深め、思いやりとやさしさを養う。

小学校・・・耳成、耳成南、耳成西、晩成、鴨公、香久山、畝傍南、畝傍東、畝傍北、白檀北、白檀南、今井、真菅、真菅北、金橋、新沢

中学校・・・畝傍、檀原、光陽、白檀、大成、八木

#### （5）保険業務取扱状況

##### 加入状況

保険種別	件数	加入者数	金額（円）
ボランティア活動保険	189	2,885	1,083,550
ボランティア行事用保険	27	812	22,736
福祉サービス総合補償	4	延1,536	45,491
送迎サービス補償	—	—	—
社協の保険	1	33	343,924
ふれあいサロン・社協行事傷害補償	4	延4,812	129,924
合 計	225		1,625,625

##### 補償請求状況

保険種別	件数	補償内容
ボランティア活動保険	4	けがの補償4件
ボランティア行事用保険	1	けがの補償1件
合 計	5	

## 心配ごと相談事業

**心配ごと相談事業（917,974円）**

▽日常生活で生じる心配ごとや悩みについての相談に応じ、適切な助言・援助を行うことで、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援する。

日時 毎週火曜日 午前9時～正午（受付：午前11時30分まで）  
 毎週木曜日 午後1時～午後4時（受付：午後3時30分まで）  
 場所 保健福祉センター南館3階 相談室1

### （1）主な収支状況

市補助金（事業補助金） 708,000円（収）  
 善意銀行運営事業から繰入 209,974円（収）  
 相談員報酬等 917,974円（支）

### （2）心配ごと相談状況（96回開催・相談者91名）

区 分	直ちに解決した もの	再来を要す もの	民生児童委員を 紹介した	他機関を紹 介した	その他	取扱延件数
1 生計				1	2	3
2 年金					1	1
3 職業					1	1
4 生業						0
5 住宅					3	3
6 家族					17	17
7 結婚						0
8 離婚					13	13
9 健康					1	1
10 衛生						0
11 医療					2	2
12 精神衛生					10	10
13 人権					2	2
14 法律	1				8	9
15 財産				1	12	13
16 事故					2	2
17 児童福祉・母子保健					1	1
18 教育				1	1	2
19 青少年						0
20 心身障がい者(児)福祉						0
21 父子福祉						0
22 母子福祉						0
23 老人福祉					7	7
24 苦情					2	2
25 その他					16	16
合 計	1	0	0	3	101	105

※新型コロナウイルスの影響により5月の相談方法を変更（対面相談の中止）

### (3) 心配ごと相談事業研修会実施状況

※新型コロナウイルスの影響により中止

## 共同募金配分金事業

**共同募金配分金事業（9,052,349円）**

▽歳末施設訪問

地域歳末たすけあい助成金、善意銀行への指定寄付及び障がい者等支援基金積立資産の一部を財源に、市内高齢者施設及び障がい者施設に歳末見舞金として配分する。

### 歳末見舞金

	施設名	配分額（円）
高齢者施設	榎原園	80,000
	かなはし苑	80,000
	桃寿園	80,000
	香久山インパレス	80,000
	榎原の郷	80,000
	ぼれぼれケアセンター白檀	40,000
	バンデ（絆）	80,000
	花檀	40,000
	リンク榎原	40,000
	ケアステージみみなし	40,000
	万葉テラス	40,000
	大和三山	40,000
	鷺栖の里	40,000
障がい者施設	あさひの	50,000
	たけのこ園	50,000
	榎原市福祉作業所	50,000
	ステップあすか	50,000
	生活支援センターはるかぜ	50,000
	スクラム	50,000
合計		1,060,000

※地域歳末たすけあい助成金760,000円、善意銀行への指定寄付240,110円、障がい者等支援基金積立資産59,890円を活用

### (1) 主な収支状況

地域助成金	6,566,761円〈収〉
地域歳末たすけあい助成金	4,424,251円〈収〉
地域助成金の配分（自治会、民協等）	1,976,053円〈支〉
歳末見舞金として配分	760,000円〈支〉
各事業に地域助成金の繰出	2,652,045円〈支〉
各事業に地域歳末たすけあい助成金の繰出	3,664,251円〈支〉

※令和2年度地域助成金の残額（1,938,663円）については、令和3年度へ繰越

## 生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金貸付事業（12,784,000円）

### ▽生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯や高齢者世帯、障がい者世帯等の生活を経済的に支えるとともに、在宅福祉の充実や社会参加の促進を図ることを目的に、生活福祉資金の相談や貸付を行う。

#### （１）主な収支状況

県社協受託金	12,784,000円（収）
内訳 生活福祉資金貸付等事務受託金	3,522,000円
臨時特例つなぎ資金貸付等事務受託金	62,000円
生活福祉資金貸付等事務受託金（特例貸付分）	9,200,000円
人件費	10,377,637円（支）
民生委員への生活福祉資金活動費用弁償	315,000円（支）
事務所使用料	195,225円（支）
広報・啓発費用	40,425円（支）
非常通報装置の設置	62,040円（支）
固定資産取得費（複合機）	693,000円（支）
その他事務費	1,100,673円（支）

#### （２）生活福祉資金相談状況

相談件数	2,403件
内訳 総合支援資金	1,127件 （生活支援費1,126件 （生活支援費16件、新型コロナ特例貸付1,110件）、 住宅入居費1件、一時生活再建費0件）、 教育支援資金9件、福祉資金50件、不動産担保型生活資金6件、 緊急小口資金1,144件 （緊急小口資金27件、新型コロナ特例貸付1,117件）、 臨時特例つなぎ資金22件、その他45件

#### （３）生活福祉資金貸付状況

資金種別	件数	貸付金額（円）
1. 生活支援費	989	519,110,000
（１）生活支援費	7	2,970,000
（２）新型コロナ特例貸付	982	516,140,000
2. 住宅入居費	—	—
3. 一時生活再建費	—	—
4. 教育支援資金	3	1,639,000
5. 福祉資金	10	2,561,000
6. 不動産担保型生活資金	—	—
7. 緊急小口資金	891	174,840,000
（１）緊急小口資金	3	300,000
（２）新型コロナ特例貸付	888	174,540,000
8. 臨時特例つなぎ資金	14	1,100,000
合計	1,907	699,250,000

#### (4) 生活福祉資金償還完了状況

資金種別	件数	償還金額 (円)
1. 生活支援費	2	1,488,000
2. 住宅入居費	—	—
3. 一時生活再建費	—	—
4. 教育支援資金	34	41,199,000
5. 福祉資金	8	3,014,000
6. 不動産担保型生活資金	—	—
7. 緊急小口資金	10	1,225,000
8. 臨時特例つなぎ資金	18	1,410,000
9. 離職者支援資金	1	800,000
合 計	73	49,136,000

#### ▽奈良県フードレスキュー事業

生活に窮迫した相談者に対して、寄り添い、安心・安定した生活に向けた相談支援活動に繋げていけるよう、一時的に食料品の提供を行う。

#### (1) 実施状況

利用者数 21名

支援食品数 437個 (雑炊、缶詰、レトルトご飯、うどん、うどんスープ、レトルトカレー)

#### 善意銀行運営事業

#### 善意銀行運営事業 (1,276,721円)

#### (1) 主な収支状況

寄付金 883,349円 (収)

歳末見舞金の一部として払出し 240,110円 (支)

前年度の寄付金を目的に沿って各事業に繰出 1,036,611円 (支)

#### (2) 善意銀行運営状況

区分	事 項	件数	金額 (円)
収入の部	1. 一般寄付	30	619,987
	2. 指定寄付	35	263,362
	(1) 地域福祉のために	16	46,000
	(2) 在宅福祉のために	1	9,150
	(3) ボランティアのために	1	11,150
	(4) 高齢者のために	1	11,310
	(5) 障がい者のために	16	185,752
3. 受取利息		16	
4. 前年度からの繰越金		1,276,721	
合 計 (A)			2,160,086
支出の部	1. 歳末見舞金の一部として払出		240,110
	2. 各事業に払出		1,036,611
	(1) 法人運営事業		441,164
	(2) 地域福祉活動支援事業		382,953
	(3) 家族介護者交流事業		2,520
(4) 心配ごと相談事業		209,974	
合 計 (B)			1,276,721
差引合計 (A)-(B)			883,365

※差引合計883,365円については、令和3年度へ繰越

## 善意銀行預託金事業

### 善意銀行預託金事業

▽ひとり親家族交流バスツアー

※新型コロナウイルスの影響により中止

## 地域福祉基金運営事業

### 地域福祉基金運営事業（41,939円）

#### （1）主な収支状況

地域福祉基金積立資産の運用利息 41,939円（収）  
地域福祉活動支援事業に繰出 41,939円（支）

#### （2）地域福祉基金積立資産運営状況

（単位：円）

積立資産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	93,623,652	0	0	93,623,652
合計	93,623,652	0	0	93,623,652

## 障がい者等支援基金運営事業

### 障がい者等支援基金運営事業（387,475円）

#### （1）主な収支状況

障がい者等支援基金積立資産の運用利息 3,032円（収）  
障がい者等支援基金積立資産の取崩 460,000円（収）  
障がい者団体への助成金 231,000円（支）  
歳末見舞金の一部として助成 59,890円（支）  
子どもの発達支援のために助成 96,585円（支）

#### （2）障がい者等支援基金積立資産運営状況

（単位：円）

積立資産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	30,000,000	0	460,000	29,540,000
合計	30,000,000	0	460,000	29,540,000

#### （3）障がい者団体の活動支援

▽障がい者団体の地域における事業活動及びその運営に対して助成し、支援する。

団体名	助成事業の内容	助成金額（円）
アンクルン音楽クラブ con brio	障害児・者の音楽、余暇活動	90,000
スノーキャンパス	楽しく・学ぶ 発達凸凹子育て	100,000
高齢聴覚障がい者の集い「すみれの会」	高齢聴覚障がい者の交流・ふれ合い	41,000

## 日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業（863,795円）

▽認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など、判断能力が不十分な方の権利を擁護するとともに、福祉サービスの利用援助や日常生活の相談、金銭管理などの援助を行うことで、地域で安心して生活ができるよう支援する。

### （1）主な収支状況

県社協助成金	421,475円（収）
利用者負担金	442,320円（収）
生活支援員人件費	506,309円（支）
広報・啓発費用	40,425円（支）
その他事務費・事業費	317,061円（支）

### （2）実施状況

契約者数 35名（令和3年3月31日現在）

支援時間数 612.5時間

#### 契約状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規件数	0	0	1	2	1	0	2	2	0	0	2	0	10
終了件数	1	0	0	0	3	2	1	1	1	1	1	0	11

#### 相談状況

	問合せ件数 (制度・事業について)	初回相談件数	相談援助件数	合計
4月	2	4	54	60
5月	1	3	52	56
6月	1	2	66	69
7月	5	3	59	67
8月	1	0	57	58
9月	2	2	73	77
10月	0	1	72	73
11月	2	1	65	68
12月	0	2	58	60
1月	2	0	43	45
2月	3	3	43	49
3月	0	0	61	61
合計	19	21	703	743

### （3）生活支援員連絡会実施状況

開催日	内 容	参加者数
2月9日	ケース検討会	6

## 訪問介護事業

### 訪問介護事業（33,166,987円）

#### ▽要介護者に対するホームヘルプサービス

要介護状態にある高齢者等（利用者）の心身の特性を踏まえ、利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行う。

#### ▽要支援者に対するホームヘルプサービス

要支援状態にある高齢者等（利用者）に対し、適切な第一号訪問事業を提供する。利用者が可能な限りその居宅において、要支援状態の維持・改善と、要介護状態への予防をし、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行う。

#### （１）主な収支状況

介護保険収入	21,690,764円（収）
総合事業収入	7,629,880円（収）
利用者負担金（要介護）	2,558,614円（収）
利用者負担金（要支援）	964,923円（収）
奈良県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（介護・福祉分）等補助金	602,000円（収）
職員、嘱託職員、ヘルパー人件費	23,843,093円（支）
事務所使用料	585,675円（支）
訪問介護システム利用料	92,400円（支）
広報・啓発費用	40,425円（支）
新型コロナウイルス感染症対策のための衛生用品等	602,294円（支）
その他事業所運営にかかる事業費・事務費	1,203,100円（支）
地域福祉推進事業（法人運営事業）に繰出	6,800,000円（支）

#### （２）ヘルパー派遣（訪問介護）実施状況

	活動者数	利用者数	生活援助（時間）	身体生活（時間）	身体介護（時間）
4月	25	41	206	228.5	149
5月	26	41	201	221	149
6月	24	42	206	233	161
7月	24	42	202.5	247	177.5
8月	24	44	176.5	224	184.5
9月	25	44	198.5	210	196
10月	26	44	185	247	199
11月	24	43	164	243	178
12月	24	41	144	273.5	181
1月	23	37	114	297	180
2月	22	37	114.5	268	176
3月	22	43	140	322.5	180
合計	289	499	2,052	3,014.5	2,111

### (3) ヘルパー派遣（第一号訪問）実施状況

	活動者数	利用者数	活動時間（時間）
4月	30	60	277
5月	31	58	263
6月	29	59	271
7月	30	57	272
8月	30	55	253.5
9月	29	54	258.5
10月	29	52	263
11月	29	52	232.5
12月	29	52	232
1月	30	50	215
2月	29	52	227
3月	29	51	260
合計	354	652	3,024.5

### (4) ヘルパー定例会（研修）実施状況

▽サービスの質の向上と社協職員としての資質の向上を目的に実施する。

開催日	内容	参加者数
9月24日	介護技術向上研修	16
10月22日	事例検討会	10
12月23日	老化にともなう心身の変化と対応について	16
3月23日	ヒヤリハットについての検証	16

## 障害福祉サービス事業

### 障害福祉サービス事業（13,043,738円）

▽障がい者（児）に対するホームヘルプサービス

- ①居宅介護事業 障がい者の居宅において、身体介護や家事援助、生活上の相談を行うほか、通院時に必要な介助を行う。
- ②重度訪問介護事業 重度の肢体不自由者で、常時介護を必要とする方の身体介護や家事援助、移動の介護、見守り等生活全般を支援する。
- ③同行援護事業 視覚障がい者の外出に同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護等を行う。

### (1) 主な収支状況

居宅介護給付費収入	7,812,980円（収）
重度訪問介護給付費収入	831,184円（収）
同行援護給付費収入	3,883,986円（収）
利用者負担金	261,586円（収）
奈良県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（介護・福祉分）等補助金	509,000円（収）

嘱託職員、ヘルパー人件費	11,627,004円〈支〉
事務所使用料	195,225円〈支〉
障害福祉システム利用料	132,000円〈支〉
新型コロナウイルス感染症対策のための衛生用品等	510,748円〈支〉
その他事業所運営にかかる事業費・事務費	228,761円〈支〉
地域福祉推進事業（法人運営事業）に繰出	350,000円〈支〉

## (2) ヘルパー派遣実施状況

	活動者数	利用者数	身体介護 (時間)	家事援助 (時間)	通院介護 (時間)		重度訪問 介護 (時間)	同行援護 (時間) ※介護を 伴わない
					※介護を 伴わない	※介護を 伴う		
4月	25	32	4	307.5	5.5	0	39	102.5
5月	25	31	5	294.5	5	0	38	106.5
6月	24	32	7	314	12	0	41	111
7月	25	32	10.5	298	5	0	40	142
8月	23	29	9	253.5	9	0	36	93.5
9月	25	29	7	262.5	8	0	36	106.5
10月	24	30	10.5	307.5	12.5	0	35	137
11月	24	29	4	277	3	0	29	127.5
12月	25	29	5	297.5	11	0	36	108
1月	26	31	0	301	4	0	34	106.5
2月	26	33	3	301.5	5.5	0	28	100
3月	26	34	10	326	5	8	27	108
合計	298	371	75	3,540.5	85.5	8	419	1,349

## 移動支援事業

### 移動支援事業（1,618,314円）

▽移動支援事業の受託

障がい者（児）が安心して社会活動に参加できるよう移動支援サービスを提供する。

#### (1) 主な収支状況

市受託金	1,660,260円〈収〉
利用者負担金	23,210円〈収〉
ヘルパー人件費	978,013円〈支〉
その他事業費・事務費	390,301円〈支〉
地域福祉推進事業（法人運営事業）に繰出	250,000円〈支〉

#### (2) ヘルパー派遣実施状況

	活動者数	利用者数	移動支援 単独保障型 (時間)	移動支援 単独補助型 (時間)	移動支援 単独介護型 (時間)
4月	8	8	48.5	0	14.5
5月	8	10	41.5	5	10.5
6月	7	8	53.5	7	9.5
7月	8	8	44	4	10
8月	6	8	42	8	9.5
9月	9	10	43	8	16.5

10月	8	9	50.5	7	12
11月	8	9	48.5	6.5	12
12月	9	8	61	6	12
1月	10	10	58	7	10.5
2月	9	7	52.5	8	11
3月	8	9	40.5	8	10.5
合計	98	104	583.5	74.5	138.5

## 包括的支援事業

### 包括的支援事業（106,301,430円）

▽地域の高齢者等の心身の健康保持及び生活の安定のために必要な援助を行い、地域の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する。

▽地域包括支援センターに保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャー等を配置し、それぞれが連携を図ることにより、地域で暮らす高齢者の介護・福祉・健康・医療等さまざまな悩み・疑問・相談ごとに総合的に対応する。

#### （１）主な収支状況

市受託金	106,217,316円〈収〉
介護予防支援事業から繰入	84,114円〈収〉
人件費	54,892,132円〈支〉
かしはら街の介護相談室委託費	46,800,000円〈支〉
地域包括支援センターシステム保守料等	857,070円〈支〉
広報・啓発費用	282,975円〈支〉
事務所使用料	1,757,027円〈支〉
その他地域包括支援センター運営にかかる事務費・事業費	1,712,226円〈支〉

#### （２）総合相談・支援事業

▽高齢者やその家族等から様々な相談を受け、高齢者などが抱える生活課題を的確に把握し、保健・医療・福祉の各種サービスが受けられるように支援する。

#### 相談状況

区分	件数
介護保険	1,462
認知症	917
虐待	96
病気	40
医療	106
家族	41
権利擁護	48
生活資金	39
介護予防	7
日常生活	534
ケアマネ支援	39
その他	87
合計	3,416

※認知症の件数には、後述の認知症地域支援推進員の相談件数を含む。

### (3) 権利擁護事業

▽高齢者の虐待防止、早期発見、早期対応などを行うとともに、成年後見制度（財産管理や重要な契約などの支援）等の利用促進を支援する。

#### 相談状況

	虐待	権利擁護	合計
延対応件数	96	48	144
実人数	20	22	42

※延対応件数は、前述の総合相談・支援事業の相談状況の件数を再掲

▽支援困難事案の情報を共有し解決に向けた検討や、高齢者虐待事案に対する判定を目的に会議を開催する。

#### 困難ケース検討会・高齢者虐待判定会議実施状況

名 称	回数
困難ケース検討会・高齢者虐待判定会議	13

### (4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

▽利用者がどのような状況にあっても、住み慣れた地域で暮らすことができるよう関係機関と連携し、継続的に支援できるよう努める。また、地域のケアマネジャーが抱える困難事例等の相談に応じ、より質の高いケアマネジメントができるようケアマネジャー同士のネットワークづくりを支援する。

▽居宅介護支援事業所のケアマネジャーを対象にオンライン形式で研修会を実施する。

#### ケアマネジャー支援研修会実施状況

開催日	内 容	参加者数
2月16日	内容 自立支援を念頭に置いたケアマネジメント実施のためのアセスメント力の向上と実践力を高めるポイント 講師 兵庫県対人援助研究所 主宰 稲松真人 <sup>いなまつまこと</sup> 氏	74

### (5) かしはら街の介護相談室との連携

▽社会福祉法人や医療法人の協力を得て設置しているかしはら街の介護相談室との連携を図り、地域における高齢者の総合相談窓口として、より一層の充実を目指す。

#### かしはら街の介護相談室（小学校区）

小学校区	事業者名	小学校区	事業者名
耳成	檀原の郷	白檀南	桃寿園
耳成南	バンデ（絆）	白檀北	桃寿園
晩成	あすならホーム畝傍	今井	ぼれぼれ八木西スクエア
鴨公	大和三山	真菅	ぼれぼれ八木西スクエア
香久山	香久山インパレス	真菅北	檀原の郷
畝傍東	檀原園	耳成西	檀原の郷
畝傍南	檀原園	金橋	かなはし苑
畝傍北	あすならホーム畝傍	新沢	西井クリニック

### かしはら街の介護相談室（中学校区）

中学校区	事業者名	中学校区	事業者名
八木（北）	大和三山	大成	かなはし苑
八木（南）	香久山インパレス	檀原	檀原の郷
畝傍	平成まほろば病院	光陽	桃寿園
白檀	檀原園		

▽かしはら街の介護相談室事業評価に係る現地調査の実施

対象 かしはら街の介護相談室を受託する11法人

期間 2月15日～2月22日

▽医療機関や介護サービス事業者などの関係者が連携を図り、在宅医療と介護サービスを一体的に提供する体制の構築を目的に、中学校区レベルで開催される「在宅医療・介護連携地域ケア会議」に参加する。

### 日常生活圏域レベル地域ケア会議実施状況

名 称	回数
在宅医療・介護連携地域ケア会議	7

▽専門職等がケアマネジメントのプロセスに関与し、多職種において課題及び背景・原因の分析をより深め、要支援者等の自立支援の検討のため、中学校区レベルで開催される「自立支援地域ケア会議」に参加する。

▽ケアマネジャーや地域住民等から報告される個別の支援困難事案の解決に向けた検討や、地域の支援体制の構築を目的に、「個別レベル地域ケア会議」を開催（参加）する。

### 個別レベル地域ケア会議実施状況

名 称	回数
自立支援地域ケア会議	12
個別レベル地域ケア会議	8

▽地域包括ケアシステムの実現を目指し、研修会の開催や情報の共有などの連携を図るため、ランチ連絡会を開催する。

### ランチ連絡会実施状況

開催日	内 容	参加者数
7月28日	今後の業務について	28
11月17日	研修 特殊詐欺被害と防止対策について 講師 奈良県檀原警察署 生活安全課 防犯アドバイザー <small>にしおかとくいち</small> 西岡篤一 氏	23
3月16日	令和3年度の業務について 認知症初期集中支援について	29
	合 計	80

※新型コロナウイルスの影響により活動報告会を中止したため、「令和2年度かしはら街の介護相談室活動実施報告書」を作成し、檀原市地域包括支援センター運営協議会委員に配布

## 認知症総合支援事業（7,216,894円）

▽地域包括支援センターに認知症地域支援推進員（認知症の専門相談員）を配置し、認知症疾患医療センターやかかりつけ医と連携することで、医療と介護の切れ目のないサービスを提供するとともに、地域ケアに対する専門的な支援を行う。

### （１）主な収支状況

市受託金	7,216,894円〈収〉
人件費	6,440,265円〈支〉
地域包括支援センターシステム保守料等	63,492円〈支〉
広報・啓発費用	121,275円〈支〉
事務所使用料	195,225円〈支〉
弁護士法律相談費用	104,900円〈支〉
その他認知症関係事業費	291,737円〈支〉

### （２）認知症地域支援推進員の相談状況

相談件数799件（実人数98名）

### （３）オレンジカフェ実施状況

▽認知症の方やその家族が集まって、悩みを話したり、介護の情報を得たりする交流の場として「オレンジカフェ（認知症カフェ）」を開催する。

日時 毎月第3水曜日 午後1時30分～午後3時30分

場所 保健福祉センター南館3階 講座室1

### オレンジカフェ実施状況

名称	回数	延参加者数
オレンジカフェ（認知症カフェ）	9	129

※新型コロナウイルスの影響により4月～6月の開催を中止。また、感染症対策のため事前申込制で実施

## 生活支援体制整備事業（983,000円）

▽高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備の推進と、提供体制の構築に向け、生活支援コーディネーターを配置する。

▽社会資源の把握のため、かしはら街の介護相談室と連携して、高齢者にとって日常生活に役立つ次の情報を調査し、冊子として作成・更新する。

- ・日常生活品配達サービス
- ・高齢者の地域の居場所
- ・訪問理美容店舗
- ・買い物支援サービス協力店

▽かしはら街の介護相談室の協力を得て、各町の地域特性などの情報を収集し、現状や課題を分析するための「町ごとのアセスメントシート」を作成・更新する。

▽かしはら街の介護相談室の生活支援コーディネーターと連携を図り、小学校区の現状や課題を地域住民と共有するとともに、解決に向けた検討のため、見守り・居場所づくり・つながりづくり等をテーマに、小学校区レベルで開催される「生活支援地域ケア会議」に参加する。

## 日常生活圏域レベル地域ケア会議実施状況

名 称	回数	延参加者数
生活支援地域ケア会議	16	155

### (1) 主な収支状況

市受託金	983,000円〈収〉
人件費	878,626円〈支〉
広報・啓発費用	40,425円〈支〉
生活支援サービスの体制づくりのための事業費	63,949円〈支〉

## 介護予防支援事業

### 介護予防支援事業（10,903,208円）

#### ▽第一号介護予防支援

要支援者や近い将来要支援・要介護状態となるおそれのある高齢者が、介護予防及び生活支援を目的に、心身の状況等に応じて適切な事業が提供されるよう、介護予防ケアマネジメント計画を作成するとともに、その計画に基づくサービスの提供が確保されるよう、関係機関との連絡調整などを行う。

#### ▽指定介護予防支援

要支援者が、介護予防サービス等の適切な利用を行うことができるよう、介護予防サービス計画を作成するとともに、その計画に基づく介護予防サービスの提供が確保されるよう、関係機関との連絡調整などを行う。また、公正中立なケアマネジメントの確保や平時から医療機関との連携に努める。

### (1) 主な収支状況

介護保険収入	5,626,988円〈収〉
総合事業収入	5,246,014円〈収〉
人件費	8,691,334円〈支〉
介護予防支援システム保守料等	253,970円〈支〉
事務所使用料	390,451円〈支〉
弁護士法律相談費用	104,900円〈支〉
広報・啓発費用	40,425円〈支〉
その他事業所運営にかかる事務費・事業費	1,338,014円〈支〉
包括的支援事業に操出	84,114円〈支〉

### (2) 実施状況

委託契約事業所件数 79件（うち、稼働事業所件数 76件）（令和3年3月31日現在）

#### 介護予防ケアマネジメントAプラン作成給付管理実施状況

	地域包括支援センター			委託事業所			合計
	新規	継続	計	新規	継続	計	
4月	0	68	68	20	502	522	590
5月	2	49	51	5	486	491	542
6月	1	58	59	23	534	557	616
7月	5	66	71	14	603	617	688
8月	1	60	61	12	550	562	623

9月	4	55	59	28	548	576	635
10月	1	55	56	28	564	592	648
11月	1	59	60	18	577	595	655
12月	0	56	56	19	582	601	657
1月	0	50	50	17	574	591	641
2月	0	49	49	16	567	583	632
3月	0	47	47	11	576	587	634
合計	15	672	687	211	6,663	6,874	7,561

### 介護予防ケアマネジメントBプラン作成給付管理実施状況

	地域包括支援センター			委託事業所			合計
	新規	継続	計	新規	継続	計	
4月	0	17	17	0	13	13	30
5月	2	17	19	0	12	12	31
6月	0	15	15	0	14	14	29
7月	0	18	18	0	17	17	35
8月	2	15	17	0	10	10	27
9月	1	17	18	0	12	12	30
10月	0	16	16	1	12	13	29
11月	0	16	16	0	10	10	26
12月	1	16	17	1	9	10	27
1月	0	17	17	1	10	11	28
2月	0	17	17	0	8	8	25
3月	0	18	18	0	9	9	27
合計	6	199	205	3	136	139	344

### 介護予防ケアプラン作成給付管理実施状況

	地域包括支援センター			委託事業所			合計
	新規	継続	計	新規	継続	計	
4月	1	75	76	15	741	756	832
5月	1	64	65	25	751	776	841
6月	2	62	64	21	778	799	863
7月	1	64	65	28	791	819	884
8月	1	65	66	22	794	816	882
9月	2	63	65	24	796	820	885
10月	0	59	59	24	813	837	896
11月	0	61	61	26	812	838	899
12月	0	61	61	25	819	844	905
1月	0	57	57	25	839	864	921
2月	0	53	53	29	838	867	920
3月	0	58	58	26	855	881	939
合計	8	742	750	290	9,627	9,917	10,667

(注釈)

### サービス区分名

#### 事業名(決算額)

決算額には、拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))における当該事業の事業活動による収支、施設整備等による収支、その他の活動による収支のそれぞれの支出額の内部取引消去前の合計額を記載

〈収〉は収入

〈支〉は支出